

事故を防ぐために



① 安全装置が正しく作動することを確認して使用しましょう

安全装置が装備されているにもかかわらず、故意に働かないようにして使用したり、故障を放置したまま使用したりして事故にあうケースがみられます。除雪機を使用する場合は、取扱説明書を確認し、安全装置が正しく作動する状態で使用しましょう。

② 周囲に人がいないことを確認して使用しましょう

雪をかき崩すオーガに巻き込まれると重篤なけがを負ったり、死亡に至る場合もあります。使用の際は、周囲に人がいないことを確認しましょう。また、人が近づいた場合には直ちに停止できるような状態で除雪を行いましょう。

③ 投雪口に詰まった雪を取り除く際は必ずエンジンを停止しましょう

投雪口の奥には雪を飛ばすためのブロアが高速で回転しており、誤って手指が触れると指を切断することがあります。投雪口の雪を取り除く際には、必ずエンジンを停止し、オーガやブロアの回転が停止したことを確認してから雪かき棒を使用して取除きましょう。

④ 足元や周囲の障害物に注意し、無理のない速度で使用しましょう

後進時に使用者が転倒してひかれたり、障害物に挟まれて死亡する事例がみられました。除雪機を使用する際、特に後進する時は足元や周囲の障害物に注意を払い、無理のない速度で使用しましょう。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。
<http://www.kokusen.go.jp/>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。
特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。
商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。
無断転載はお断りいたします。



独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL.042(758)3165 ●2013年2月発行

デザイン=独立行政法人国民生活センター商品テスト部

くらしの危険 Number 312

歩行型ロータリ除雪機の 使い方に注意

歩行型ロータリ除雪機は、雪の多い地域では生活に欠かせない機械です。しかし、誤った使い方をしたことなどにより、重篤なけがを負ったり死亡に至ったという事故情報があとを絶ちません。使用の際は、安全装置が正常に働くことを確認し、周囲の安全にも配慮して正しく使いましょう。



除雪機による事故

事故情報データベース*¹や医療機関ネットワーク*²には、除雪機を使用していて重篤なけがを負ったり死亡に至ったという事故情報が寄せられています。オーガやブロアでの事故や、壁に挟まれる事故、除雪機に

ひかれる事故などが多くみられます。また、安全装置が故障していたり、ひもで固定してしまっていたなどして、正常に働かない状態で使用したために事故が発生したケースもあります。

*¹ 生命または身体に被害を生じる消費生活上の事故情報を関係機関から一元的に集約し、事故の再発・拡大防止に活用することを目的として実施している事業。国民生活センターと消費者庁が連携し、関係機関の協力を得て実施している事業であり、2009年9月より運用を開始した。
*² 生命または身体に被害を生じる消費生活上の事故情報を参画医療機関から収集し、国民への注意喚起などに活用することを目的として実施している事業。国民生活センターと消費者庁の共同事業であり、2010年12月より情報収集を開始した。

こんな事故が起きています



ケース 1 オーガによる事故

エンジンがかかったまま、巻き込まれた状態で発見され、死亡が確認された。

ケース 2 除雪機と壁に挟まれる事故

当該製品をバックさせて倉庫に入れようとしたところ、倉庫と当該製品の間に挟まり、死亡した。

ケース 3 除雪機にひかれる事故

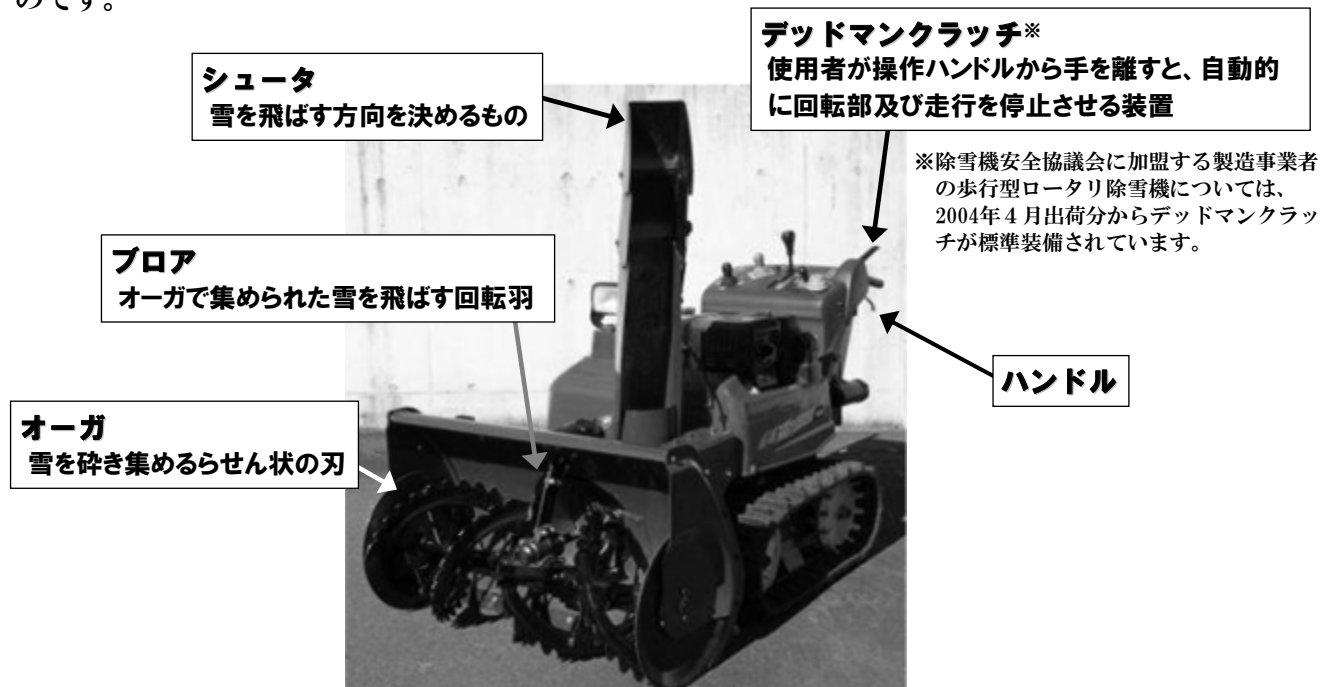
除雪作業中に当該製品を後退させた際、使用者が転倒して、ひかれ、死亡した。

ケース 4 ブロアによる事故

除雪機で作業中、当該製品に詰まった雪を取り除いていたところ、回転しだした刃に右手が接触し、指4本を骨折する重傷。

用途と構造

歩行型ロータリ除雪機とは、機械の回転する部分を利用して投雪作業を行うように設計された歩行型の除雪機です。特別な免許や資格がなくても使用でき、主に自宅敷地内等の除雪に使用されるものです。



除雪機による事故の再現テストを行いました

マネキンを用いて、除雪機に特徴的な3つの事故を再現しました。

1. オーガとの接触事故

除雪機の使用人や周囲の人が運転中のオーガに巻き込まれる事故が発生しています。マネキンの足がオーガに接触すると、衣類が刃に引っかかり、一瞬で足全体が引き込まれてしまいました。



2. 後進中の事故

除雪機を後進中に、安全装置が働かない等の理由で除雪機が停止せず、障害物との間に挟まれる事故や除雪機にひかれる事故が発生しています。

除雪機が停止しない状況を再現するため、デッドマンクラッチをひもで固定した状態でテストしました。

除雪機と壁の間に挟まれる事故



除雪機にひかれる事故



※デッドマンクラッチが固定されているため、ハンドルから手が離れても除雪機は停止せず、後進し続ける。

3. 回転するブロアとの接触事故

ブロアの回転を止めずに、手指のかわりに人参を投雪口から差し込むと、人参は粉々に砕かれ、先端部がブロアの形に削られてしまいました。

回転するブロアに接触して砕かれる人参



●このテストの詳細は(独)国民生活センターホームページ「商品テスト結果」歩行型ロータリ除雪機の使い方に注意」で見ることができます。